

---

# キミヨウな漢字練習

Canada

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

キミヨウな漢字練習

### 【Nコード】

N2483C

### 【作者名】

Canada

### 【あらすじ】

廊下掃除をしている聡亮が、遥香と会って、その遥香が……。すみません……。小説ではなくて漢字練習で……。でも、おもしろいですよ。(自称)だから、読んでみてはいかがでしょう？問題番号( )の中の数字)の次のカタカナの語の漢字を書いてみよう。もちろん、そのまま読んでもおもしろいですから、もうこんな漢字なんて簡単じゃん、という人は読むだけでもいいかもしれませんよ。

## その1 廊下掃除にて

ぼく(聡亮ちゆうりやう)が (1)ケンメイに (2)セイソウ をしてい  
たら、 (3)シラカベに (4)ソウシヨク してあるのに気  
が付いた。それは、何個かの (5)ウキシマが書いてあり、また、  
そこに (6)セノビ をした人がいた。海には (7)クジラ  
がいて、 (8)オドロイテ しまった。

いきなり後ろから、「よっ！」と話しかけてきたのは、遥香はるか。この  
子はいつでも (9)ウヤウヤシイ し、 (10)ユウゼン と  
している。そういえば、セノビをした人は (11)カノジヨ に  
似ているなあ。 (12)トウメイ な水を (13)タキ のよ  
うにして捨てている。以外にもこの子は (14)チシキ が豊富  
で、 (15)ガンコウ がするどい。結構 (16)メズラシイ  
奴だ。まあ、この子には (17)オンケイ も受けてるし、こ  
のくらいにしておこう。

そういえばなぜか、カノジヨは (18)カンデンチ をいつも1  
6本持っている。カノジヨは皿抜け屋という変な店の店長(寛人ひろと)  
の息子で、そこは、 (19)カンブツ やかもめの (20)ツ  
バサ、 (21)ボウシ に、 (22)スカシオリ のハンカ  
チ、世界で一番 (23)シブイ お茶も売っている。その店は  
(24)ハマベ にあって、実は (25)カイジヨ のサービス  
もやっている。実はこの店は、横から見ると火山が (26)フン  
カしたように見えるが、上から見ると (27)クジラ のよう  
に見えるそうだ。

ところがその日に (28)ヨコユレ の大きな (29)ジシン  
で (30)ジャグチ がこわれ、 (31)フンスイ が出た。  
店員はもちろん (32)ドウヨウ して (33)オシイレ の  
中をあさっている人や (34)ユカシタ に隠れている人、また、  
(35)コウズイ だー、と叫んでいる人もいたそうだ。カノジ

ヨは冷静だから、(36)ゲキド しちまって、静まれ〜!といった。店員は静まったが、(37)フリコ だけがゆれていた。その後、もつとも大変なことが起きたのである。なんと(38)ヨシン で店が(39)シズミソウ になったのである。なんと全員ダツシユで(40)ダツシユツ したが、(41)ジョウキョウ もジョウキョウだし、ただ(42)シズム のを(43)ナガメル ことしかできなかった。カノジヨはじつはこの付近の海岸を(44)トウハ していて、海岸の(45)ハシまで歩こう、と言い出した。皆は反対したが、カノジヨは一人で結局行ってしまった。

皆、最初はいいと思ったが、やはり皆心配になってきたのか海岸沿いを(46)カケテ いった。そしたらなんと、そこは裁判所で(47)キソ された人(尚文)が(48)カンラク 的になって(49)バカ なことをやっていた。皆、(50)アットウ されてしまった。いったいこれは、(51)シヨウドウ 的に起こったものなのか、ただバカなのかさっぱりわからん。(52)ヒヤアセ まで掻いていた。

空港は、(53)リリク したばかりの飛行機が空を飛んでいた。(54)カツソウロ は(55)トチュウ でぶつた切られていた。(56)イツシユン (57)ヒトカゲ が見えたので、どうしたんだろうと(58)カノジヨ が言ったら、あっさりとバイトのねえちゃん(南海恵)に会社の人だろ、と(59)シテキ されてしまった。ねえちゃんの(60)ケシヨウ はすごく、証明書との写真では、(61)ヒトチガイ かと思うほどだった。店にいた(62)チンキヤク(波平)も一緒だ。なぜか(63)オクバ の模型を手に取っていた。

カノジヨたちは、店長、バイトのねえちゃんにチンキヤク、店員その1(さくら)とその2(一郎)と一緒に旅に出ることにした。どのくらい(64)キヨリ を歩いたんだろう。もう空は真っ暗で、空には無数の星が(65)マタタイテ いた。チンキヤク

は (66) ナミダゴエ で (67) フナウタ を歌っていた。  
眠い。 (68) ソッコク カノジヨはテントをはって、 (69)

キョウイ 的な速さで眠りについてしまった。

その次の日、カノジヨが起きて外を見ると、かなりの (70) コ  
ウテン であつた。そしてまた、 (71) カノジヨ たちは歩き  
続けていくのである。・・・つづく

<注> この物語は (72) カクウ のものです。実際の人物、  
団体名等とは関係ありません。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2483c/>

---

キミヨウな漢字練習

2011年1月26日09時36分発行